成果の説明書

(氏名)　野崎謙二	(学部)　経済学部

1　重要事項

・該当なし

2　その他の事項

(1) 学会活動等

・日本地域学会理事として、学会の運営に貢献した。

・10 月 9 日開催の日本地域学会第 60 回年次大会(会場：名古屋大学)において、①特別セッション「東アジアの経済開発」の座長を務めるとともに、②同セッションの浅田英克氏「中国での各省別直接投資流入の決定要因について」、高安雄一氏「コロナ後の韓国における外国人労働者に関する考察」の各報告に対して討論者としてコメントし、議論に参加した。

(2) 教育活動

・5 月にエラスムス・プラスの枠組みで協定校であるヴロツワフ経済経営大学(ポーランド)で 1 週間活動してきた。日本経済等に関する講義をしてきた他、大学間交流に関する意見・情報交換、ルーマニア及びボスニアヘルツェゴビナから派遣された教員との情報交換を行った。

・ゼミの教員企画である海外フィールドワークを 4 年半ぶりに復活させた。8～9 月には 3 年生のタイでの研修、2 月には 2 年生のラオス・タイでの研修を企画、引率した。

・ゼミ生のグループが経済学部ゼミナール協議会主催プレゼンテーション大会や経済学会主催学生懸賞論文に参加・応募し、複数の入賞を果たした。その中の 2 テーマについては、タイでのフィールドワークにおいて、協定校であるメーファールアン大学の教員・学生の協力を得て実施した調査結果をもとにした成果であった。残りの 1 テーマについては、主に高崎市内の複数の企業への聞き取りに基づく分析を行うなど、フィールド重視の指導をした。

3　次年度以降の計画・抱負

(1) 研究活動

・近年十分な研究成果を上げられていないので、東南アジアの経済活動をテーマに研究を本格的に再開したい。特に、学外の研究者との間で研究成果を英語で出版するプロジェクトの話があるので、そこに貢献できるように分析活動を行いたい。

(2) 教育活動

・新しく導入された LMS が十分に使いこなせるよう努力し、少なくとも学生の学習の足を引っ張らないようにしたい。

・演習については、授業時間外の課外活動もサポートしつつゼミの運営を行うこととする。

・再開した海外フィールドワークを引き続き実施していきたい。年に 2 回の実施は準備も含めれば大きな負担であるが、2 年春休みに知見の拡充と課題の発見、3 年夏休みに具体的なテーマを持っての調査といった位置づけを定着させ、学習成果に結びつくような研修を企画、実施していきたい。